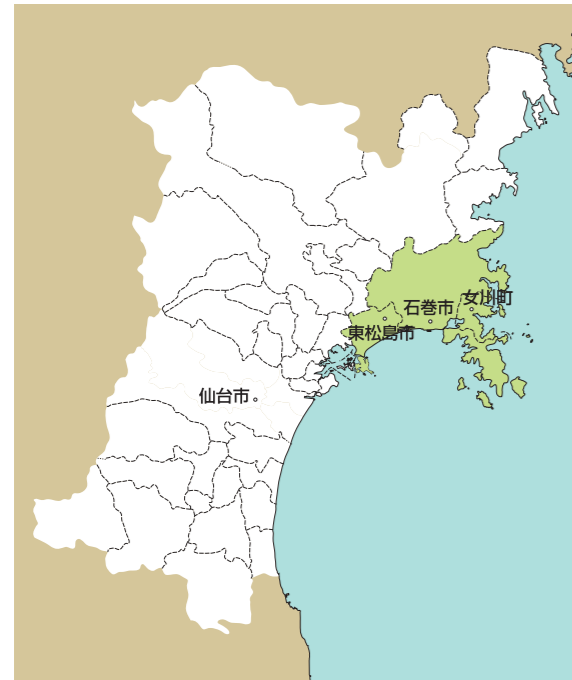


石巻エリア

石巻市 東松島市 女川町



石巻エリアは、宮城県の東部に位置し、石巻市、東松島市、女川町の2市1町で構成されています。

石巻市では、平成28年3月に仙石線石巻あゆみ野駅が開業し、6月には新北上大橋が開通しました。住民の利便性向上と、復興の加速が期待されます。また、9月には、JR石巻駅前に再建された「石巻市立病院」が、約5年半ぶりに診療を再開しました。急性期から慢性期まで、症状に応じたきめ細かい医療を提供し、地域医療の中核を担います。

水産業を基盤としている女川町では、「女川町地方卸売市場」の中央荷捌き場が完成し、平成28年9月に供用開始。平成29年の春には、全面で供用を開始し、高度衛生管理型の魚市場として生まれ変わる予定です。

東松島市では、まちづくりの整備が進められました。平成28年9月には、防災集団移転団地「あおい地区」がまちびらき。地区内の宅地や災害公営住宅の引渡し完了したこと、新たなまちの門出を盛大に祝いました。また、11月には野蒜ヶ丘地区で最後の宅地が引き渡され、東松島市最大規模の防災集団移転促進事業の宅地整備が完了しました。さらに教育関連でも、平成29年1月に「宮野森小学校」の新校舎が完成。木のぬくもりに包まれた校舎で児童らが新学期を迎えました。



平成28年9月に開院した石巻市立病院(石巻市)



施設の再建が進む女川漁港(女川町)

石巻エリアの定点観測

石巻市門脇町周辺

平成33年3月の完成を目指して、追悼の広場や避難築山を設けた復興祈念公園の整備が進められています。



JR石巻駅周辺

被災により診療を休止していた石巻市立病院が、平成28年9月にJR石巻駅前に移転し、5年半ぶりに診療を再開しました。



東松島市野蒜地区周辺

野蒜地区の住民の多くは、高台の防災集団移転団地「野蒜地区北部丘陵地区」への移転を進めています。現在、津波で被災した地域について産学官が連携し、活用方法を検討しています。



女川町女川浜周辺

町の中心部が壊滅的な被害を受けましたが、本格的な復興まちづくり事業が進められています。



石巻エリアの被害状況

	地域合計	県内合計
死者	5,296人	10,558人
行方不明者	706人	1,232人
全壊	28,483棟	83,001棟
半壊	18,955棟	155,129棟

(平成29年2月28日現在)

応急仮設住宅入居者数

	平成24年4月	平成29年2月
プレハブ住宅	24,517人	6,941人
民間賃貸借上住宅	16,968人	4,166人
計	41,485人	11,107人

(平成29年2月28日現在)

災害公営住宅整備(事業着手)状況

	平成28年2月	平成29年2月
計画戸数	6,374戸	6,482戸
着手戸数	4,978戸	5,976戸
完了戸数	2,950戸	4,804戸

(平成29年2月28日現在)